

コミュニティ なるお



○発行日
2025. 3. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47-0101

兵庫県立鳴尾高校は昨年度、創立80周年の節目を迎え、次の創立90周年に向けた新たな一歩を踏み出しました。

本校は昭和18(1943)年、当時の鳴尾村に、全国でも珍しい村立の旧制鳴尾中学校として設立され、昭和25年に県立鳴尾高校となり現在に至ります。その長い歴史の中で「鳴高」として地域に親しまれ、地域の皆さまに育てられてきた伝統校だからこそ「鳴高」あるあるエピソードがいろいろとあり、その中からいくつかを紹介します。

一つは、珍しい図柄の校章です。その由来となった鳴尾村は、武庫川と枝川の間にできたデルタ地帯にあり、四つの大字とさらに八つの小字に分かれていました。これらの大字と小字の八つを図案化した鳴尾村の村章が元となり、鳴尾中学校が設立された際、この村章に「中」を入れた校章が採用され、新制高校に



「鳴高」歴史探訪

兵庫県立鳴尾高等学校
校長 切原 きりはら
賀子 よしこ

なった際に「中」を「高」に変えて今に至っています。



鳴尾高等学校校旗



旧制鳴尾中学校校旗

二つ目は、現在、2番まである校歌が、当初は4番まであったということです。これは、総合人間類型3年生の生徒が課題研究のテーマとして「唱歌」について探究を進めていく中で、校長と一緒に過去の資料をひも解いていき分かったことです。いつ、どの

ような理由で2番と4番の歌詞が削られることになったのか？その経緯は分からないかったものの、戦前、戦後と時代が変わり、物の見方・考え方が大きく変遷していくことだろうと推察されました。

三つ目は、当初、本校のプールが鳴尾北小学校敷地内にあり、鳴尾北小学校には、当時、道路を挟んだプールを使用していたという鳴高卒業生が勤務されているのだそうです。昭和58年、本校講堂跡地に学文館と新プールが完成した際、鳴尾北小学校内南プールを西宮市へ返還。現在も鳴尾北小学校は二つのプールを高学年用、低学年用として活用しています。

その他にも、昭和26年、準優勝を果たした第23回選抜高等学校野球大会で、阪神パークの象に乗って応援した！という都市伝説を、本校放送部員が、当時を知る先輩方(90代)など関係者の人々へ取材し、それを基に映像作品を制作したり、鳴尾高校の伝統の一つ、昭和35年に始まり、コロナ禍で60回をもっていつ

たん幕を閉じた「臨海学舎」が「鳴高ナビたんキャンプ」として昨年度より復活するなど、その歴史と伝統の中で脈々と先輩方から受け継いできたバトンをしっかりと「今」の鳴高生につなげるべく取り組んでいます。

地域の皆さまには、昔を懐かしみながらも、「今」の鳴高生にも注目していただき、これからの「未来」の「鳴高」に期待と応援をいただけましたら幸いです。

校舎全景(新旧)



(昭和36年1月撮影)



(昭和49年1月撮影)

年	代	主 な で き ご と
1951	昭和26	鳴尾村、西宮市と合併
1952	27	鳴尾警察署の新社舎が新築され、甲子園警察署と改称①
1957	32	進駐軍甲子園キャンプ地の接収が解除される
1959	34	雄ヒョウと雌ライオンの間にレオポン誕生②
1961	36	甲子園キャンプ地跡に日本住宅公団が浜甲子園団地の住宅の建設を開始する③
1963	38	国道43号が開通
1964	39	市立西宮東高校が開校
1965	40	西宮市が文教住宅都市を宣言する
1968	43	学文公民館開館
1970	45	西宮市東部清掃工場が建設される
1971	46	甲子園海水浴場が閉鎖
1972	47	甲子園高速フェリーターミナルが完成。
1975	50	淡路島との間を結ぶフェリーが就航⑤
1976	51	兵庫医科大学の開学と同付属病院の開設
1978	53	阪神甲子園線上甲子園・浜甲子園間の廃止⑥
1979	54	県立西宮南高校が開校
1982	57	住宅公団武庫川団地の建設始まる⑦
1984	59	浜甲子園の干潟が鳥獣保護区に指定
1986	61	鳴尾支所新庁舎開庁⑧
1988	63	西宮コミュニティ協会が発足
1989	64	コミュニティ誌「コミュニティ西宮(現「宮っ子」)創刊
		甲子園浜訴訟の和解が成立
		阪神武庫川線が延伸され、武庫川団地前駅を開設
		鳴尾浜浄化センターが完成
		なるお文化ホールが西宮東高校に開設⑨
		1/7昭和天皇が崩御。翌1/8から平成となる



③建設中の浜甲子園団地



①甲子園警察署



②レオポン誕生(左:ポン子、右:レオ吉)
「阪神パーク73年間の記憶～開園パンフレット」より



⑧鳴尾支所新庁舎



⑥昭和50年5月5日のさようなら電車



④厚生年金スポーツセンタープール



⑨なるお文化ホール



⑦建設中の武庫川団地。鳴尾川の手前は浜甲子園団地



⑤甲子園浜沖を航行する甲子園高速フェリー

美しく豊かな未来のために...

水なし印刷 + カーボンオフセットで

あなたがつくる印刷物のカーボン0を実現します

再生可能エネルギーの利用

紙製ファイルへの移行促進 (脱プラスチック)

※詳しくはホームページをご確認ください

株式会社 わかくさ印刷

☎(0798)48-3419
https://wakakusa-p.co.jp/

〒663-8124
西宮市小松南町3丁目1番8号

① 甲子園 ^{すきのお}素盞鳴神社



12月8日 しめ縄づくり
地域の有志の皆さんが、しめ縄づくりに
一生懸命取り組みました

西宮市制100年、
甲子園球場開場100年(昨年)
今年新しいことが始まる巳(み)年



今年元旦の0:00に初詣

鳴尾地域 冬のイベント特集



鳴尾は、七つの小学校校区
(高須校区は2小学校)で
構成されています

③ 小松町



12月23日
子ども部による
サンタクロース訪問

② 里中町自治会 大掃除



12月21日
1年間使用した自治会館を
隅々まできれいにしました

③ 小松西町



12月28日 年末特別警戒パトロール



12月21日 年末寄せ植え

③ 小松北町 餅つき大会



12月7日 パパと一緒にそ〜れ!

④ 甲子園二・三番町自治会文化部



12月11日 スワッグとはドイツ語で壁飾り。皆さん、自宅のどこに飾るか考えながら作りました

スワッグ講習会



⑤ スポーツクラブ21鳴尾東(昨年の風景)



2月2日 恒例の新春マラソン大会

ほこ
誇れる歴史がある
つく
創りたい未来がある



03- 浜甲子園団地第Ⅳ期北工区建築その他工事

2025年1月25日をもって竣工いたしました。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

株式会社 浅沼組

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号
TEL.06-6585-5500 (代表)

⑥ ロイヤルアーク甲子園フローレス



12月8日 餅つき大会



12月25~27日 年末防犯活動

③ 小松南町3丁目



12月28日 年末特別警戒パトロール

12月15日 餅つき大会



12月26日 年末特別警戒防犯パトロール



⑦ 浜甲子園団地自治会

⑧ 上鳴尾自治会 餅つき大会



12月5日 餅つきは最初が肝心！米粒がなくなるまで腰を入れてつきます

火の番は、餅のできを左右する大事な役目です



③ 小松町



12月28日 年末特別警戒出発前にみんなでぜんざいを食べました

12月8日 師走の餅つき大会



西開公園で鳴尾中学校の先生と生徒が参加して餅つき



⑩ 高須



12月22日 武庫川第二一番街餅つき大会

いいものを
創ろう

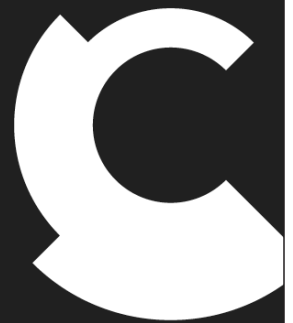


03-浜甲子園団地第IV期南工区建築その他工事

コーナン建設

COHMAN KENSETSU

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目11番15号
TEL 06-6399-0075 (代表)



上田西町の元戎社が 鳴尾八幡神社境内へ移設

鳴尾地域で広く知られている元戎の伝承は、鳴尾が漁業で盛んだった昔、漁師の網にかかった御神体が西宮神社のえびす様として祀られるというものです。そのえびす様を漁師たちが鳴尾浜に祀ったのが元戎です。

かつて三力所に祠がありました。一つは「中津」と呼ばれていた南甲子園3丁目に、一つは旧鳴尾村役場横（現在の鳴尾支所）に、そして三つ目が鳴尾川の船着き場跡の上田西町にありました。

先の二つのうち、旧鳴尾村役場横の祠は戦災でなくなり、南甲子園3丁目の砂浜公園にあった祠は現在、甲子園素戔鳴神社の境内に祀られています。

そして、三つ目の上田西町の祠は、これまでこの地で大切に守られてきましたが、ついに伝承の地、鳴尾浜を離れることとなったのです。

遷座祭の儀

昨年11月16日、秋の夕闇が足早に訪れる頃、ここ上田西町の元戎社に西宮神社の神職が多く集まり、社殿移設の神事「遷座祭」の準備に余念がありません。

社殿の扉はすでに開かれており、そのそばに櫛を置き、隣には紫と朱の下がり方で四方を飾った白布に包まれた遷座籠を据えています。正装し

た5人の神官たちは、衣冠の装束に乱れがないか互いを見合っています。

やがて夜の闇が色濃くなってきた頃、いよいよ「遷座祭」が始まりました。

夜目にも鮮やかな真っ白な衣冠をまとった5人の神官が社殿の前に並び、まず大麻を振って遷座籠に修祓を行い、続いて神官の列から、西宮神社の吉井宮司が社殿の正面に静々と進み出て、深々と頭を垂れた後、しめやかに遷座の

祝詞を奏上しました。

切りはすっかり日が落ちて闇に包まれる中、いよいよ御霊を社殿から遷座籠に遷す段になりました。



社殿に拝礼する宮司

晩闇に行われる儀式

祝詞の奏上が終わわり、おもむろに宮司が社殿の御霊に手を延ばしたその時、後ろに控えていた衣冠装束の神官たちは御霊を宮司ごと素早く囲み、それぞれのたもとを広げて周りからの視界を遮りました。また、お遷しの際の音が周りに聞こえないように、遷座籠に遷す間、低く声を発し続けていました。これは「遷座祭」が本来人目に触れさせず、晩闇（新月の夜明け前の闇）に行われる儀式だからだそうです。

無事に遷座籠に遷された御霊は、用意してあった車で夜の闇の中を一路、移設先である鳴尾八幡神社に向かって行きました。



御霊を遷座籠に遷す

地域の誇り

残された社殿も、昨年11月に八幡神社に移設されました。

かつて鳴尾浦と呼ばれ、漁場として豊かな海の恵みを与えてくれていた頃、厳しい自然の中で命がけの日々を暮らした鳴尾の漁師たちにとって大漁と海の安全の守り神として、元戎は素朴な誇りだったでしょう。

これからも元戎の伝承は、鳴尾地域に住む人々にとっ て、日々の誇りとして長く伝えられていくことでしょう。

社会福祉法人みかり会

幼保連携型認定こども園



高須の森

五感をフル稼働させながら、充実した毎日を過ごしています

西宮市高須町1丁目1-20

TEL:0798-45-5750



お困りの事がありましたら、お気軽にご連絡を

第5回 『宮っ子』なるお展 開催のお知らせ

開催
日程

3月7日(金)～3月21日(金)

場所 鳴尾図書館
1階 視聴覚室
時間 9:30～18:00



- ・3/10(月)、3/17(月)休館日
- ・3/9(日)、3/18(火)午前中は「おはなし会」のため入場できません
- ・3/21(金)最終日は17:00まで

主催 西宮市
(読書振興課・地域コミュニティ推進課)
共催 鳴尾連合自治会コミュニティ鳴尾編集委員会

『宮っ子』令和4年9・10月号～令和7年1・2月号
に掲載された鳴尾版の記事を一挙展示！
掲載写真はもちろん、誌面では掲載できなかった
写真も併せてカラーで展示します。

市政100周年に合わせ
た展示や、クリエイト
にしのみやとのコラボ
展示も予定しています。



前回の様子



鳴尾連合自治会

新年互礼会開催

1月11日、鳴尾連合新年互礼会が、ホテルヒューイット甲子園「甲陽の間」で開催されました。

石井登志郎市長をはじめ、来賓62人、連合自治会関係者79人の計141人が一堂に会し、鳴尾連合自治会・川崎洋光会長のあいさつに始まり、乾杯の発声を皮切りに、大いに親交を深めました。

本年は市制100周年、阪神・淡路大震災から30年の節目の年。今後を見据えた鳴尾の発展に向け、さらなる努力をしていくことを誓いました。

ねらえ！ホールインワン



鳴尾連合自治会 グラウンド・ゴルフ大会開催

昨年11月5日、恒例のグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。天気にも恵まれ、見晴らしのよい鳴尾浜臨海公園の芝生広場で、プレーに興じました。

優勝は甲子園六番町自治会の長畑純雄会長が、準優勝は小松町自治会の樋口俊次会長が獲得しました。



武庫川女子大学 が提供するリカレント教育ムコノアプラス

■全年代対象 DX/AIに特化した学び直し

受講料最大70%が返還される経産省リスクリング事業対象の60講座を始めとし全150講座を開講

■20~30代対象 銀行3社と提携した転職支援

安心して長く勤められる近畿・首都圏エリアの企業をご紹介



まずは、キャリアカウンセリングにお申込みください→

〒662-0833 兵庫県西宮市北野町9-32
西宮北口キャンパスリカレント教育センター
TEL:0798-31-3341

鳴尾地区5公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

月	日	曜日	時間	内容	講師	問い合わせ先
3	13	木	19:30~20:30	ハンドマッサージ ハンドマッサージでセルフケア 定員：40人 当日受け付け(開始20分前より)	KIZUNA リンパドレナージュインストラクター 船本 妙子	鳴尾東公民館 TEL49-1300
4	23	水	19:30~21:00	ツボで押し活 セルフツボマッサージ 定員：40人 当日受け付け(開始20分前より)	西宮鍼灸マッサージ師会 鍼灸マッサージ師 滝川 敦子	
4	22	火	13:30~15:30	健康・福祉講座 「笑いヨガ」 ~たくさん笑い、ストレスの解消につなげましょう~ 定員：40人 当日受け付け	インド政府認定 ヨガインストラクター 笑いヨガティーチャー ほめカード認定講師 岡本 笑美子	学文公民館 TEL41-6050
3	28	金	14:00~15:30	落語講座 定員：50人 当日受け付け	大川亭 さくら	高須公民館 TEL49-1312

【地域医療講座】 講師：明和病院医師(明和病院の協力を得て開催している講座です)

3	7	金	14:00~15:30	健康・福祉講座 泌尿器科よろず相談所 定員：40人 当日受け付け	泌尿器科主任部長 善本 哲郎	学文公民館 TEL41-6050
4	17	木	14:00~15:30	皮膚疾患 定員：50人 当日受け付け	皮膚科 黒川 一郎	高須公民館 TEL49-1312

●なるお会館からのお知らせ●
「Jシヤンソング・イン・なるお」
開催日：5月10日(土)
時間：14時開演(13時半開場)
会場：なるお会館3階集会室
出演：玉田 さかえ(歌手)
村尾 亜計実(ピアノ)
申込：4月1日(火) ~ 20日(日)必着

「なるを寄席」
六代目笑福亭松喬一門落語会
開催日：6月14日(土)
時間：14時開演(13時半開場)
会場：なるお会館3階集会室
申込：5月1日(木) ~ 20日(火)必着

申し込み方法(入場無料)
定員：100人
往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加人数(2人まで)を記入の上(記入もれは無効)、〒663-8184 西宮市鳴尾町3丁目8-7 なるお会館まで。申込期間外のはがきは無効。応募多数の場合は抽選の上、当落の案内をお知らせします。
問い合わせ：なるお会館
☎0798-468200
(祝日を除く火~金曜9~16時)
主催：公益財団法人鳴尾会

今年4月1日の「西宮市制100周年」が、同時に昭和時代に入って100年目の区切りの年でもあります。
「年表でたどる鳴尾の歩み②」では、鳴尾村が西宮市と合併してから昭和の終わりでまで振り返り、掲載写真は手持ちのアルバムや『鳴尾村誌』『鳴尾・西宮合併50周年記念誌』などから選びました。
激動の昭和時代で、鳴尾地域が果たしてきた役割を少しでも皆さんに知っていただければ幸いです。

編集後記

チャリティーバザーのお礼と報告

延べ513人が来場しました。
この収益金は、鳴尾地域の福祉発展のため大切に使用されます。ありがとうございました。

売上金：72万3932円
寄付金：9万9602円